

# 注目を集める 長崎の海洋・水産・造船

日時 令和元年12月14日(土) 13:00~17:30(受付12:00~)

場所 長崎大学グローバル教育・学生支援棟4F 文教スカイホール

日本船舶海洋工学会 主催者挨拶 13:00~13:20

## 1. 「第九の波濤」(週刊少年サンデー連載マンガ)エピソード

長崎大学 水産・環境科学総合研究科 水産科学領域  
教授 高谷 智裕(第九の波濤 監修者)

13:20~14:10

皆さん、週刊少年サンデーに連載されている「第九の波濤」というマンガ知っていますか。舞台は長崎大学水産学部、好評連載中です。作者は長崎大学水産学部卒業生の草場道輝先生、監修は、草場先生の同級生で長崎大学水産学部教授の高谷智裕先生。このお二人がこの作品を通して伝えたいことは?そもそも「第九の波濤」ってなに?連載執筆にまつわるエピソードを交えて、「水産」の世界についてのお話を伺います。



## 2. 大島造船所 国内最大級 電池駆動船 14:10~14:50

「日本初自動操船機能を有する完全バッテリー駆動船"E/V e-Oshima"の紹介」

株式会社大島造船所 最先端技術開発・工場知能化推進部  
係長 貞松 喬太

造船の街長崎、その長崎で、全国初の船が運航されています。自動車の自動運転の世界が第一歩を踏み出していますが、船の世界の自動運転は? 株式会社大島造船所が開発・運航する「日本初自動操船機能を有する完全バッテリー駆動船"E/V e-Oshima"」。実際に開発に関わられた技術者をお招きし、次世代の「造船」技術の世界について、お話を伺います。



## 3. 長崎における船の教育 14:50~15:20

長崎大学大学院工学研究科 教授 橋本 州史(15分)  
長崎総合科学大学 工学部 准教授 松岡 和彦(15分)

(休憩)

## 4. 株式会社ディープ・リッジ・テク 15:35~16:25

「海に潜れば知らなかった世界が見える」

代表取締役 浦 環(東京大学名誉教授)

地球の表面の7割は海、そして海は、表面の広さだけでなく、深く深く下に広がっています。西太平洋のマリアナ海溝もっとも深いところの水深は1万メートルを超え、地球には、陸よりはるかに広大な海洋空間が広がっています。この海の中の世界を、われわれに見せてくれる第一人者の先生が、この春、長崎県五島市に移り住んでこられました。30年以上にわたる自律型海中ロボットの研究開発を通して、日本・世界をリードしてこられた東京大学名誉教授浦環(うら・たまき)先生をお迎えて、まだ私たちの知らない「海洋」の世界について、お話を伺います。



全体討論 16:25~17:25

閉会挨拶 17:25~17:30

ご参加いただいた高校には、後日学校の方に教育教材「海洋へのいざない」を贈呈させていただきます。

